

質疑回答書

令和 8 年 7 月 31 日

見積参加者 各位

事業担当課 交野市市民部市民課

1. 下記案件に係る質疑について回答します。

カード追記券面プリンター購入事業

2. 質疑内容

	質疑	回答
1	解像度：1200dpi×1200dpi →1200dpi印字も可能なスペックのプリンターですが、当システムでは300・600dpiまでを推奨しております。	内容に一部誤りがあったため仕様書の一部を変更しています。 誤：1200dpi×1200dpi 正：1200dpi
2	ア ・真贋判定について →真贋判定は券面事項更新時にICチップ内を書き換えしている時点で判定ができており、重複するため当機能を除外しております。 ただしカード挿入時にはカード種別を判断する簡易的真贋機能がございます。 券面更新後に、再度真贋判定する必要性がないため、上記、簡易真贋判定で問題ない認識です。 特定在留カード、特定特別永住者証明書、並びに新様式の在留カード・特別永住者証明書の 簡易真贋判定はシステムバージョンアップ後に対応予定です。	仕様書のとおりです。
3	・ICチップの読み取り →新様式の在留カード・特別永住者証明書のIC読み取りは対応しておりません。	仕様書のとおりです。

4	オ ・挿入方向や表裏が適切でない場合、裏書印字を行わない機能を有すること。 →特定在留カード、特定特別永住者証明書、並びに新様式の在留カード・特別永住者証明書の 上記対応は有償でのシステムバージョンアップ後に対応予定です。	システムバージョンアップ後に対応で問題ありません。 システムバージョンアップの料金も含めた見積書の提出をお願いします。
5	ク ・裏書印字部分と電子公印の印刷濃度設定を別々に行う機能を有し →券種ごとに応じた印字濃度の設定は可能ですが、印字部分と電子公印の印字を個別に濃度は変更できません。 ですが、事前に公印データを調整することで均等に印字は可能です。	仕様書のとおりです。

以上